

20歳代に急増！！

子宮頸がんについて考えてみよう

～9月はがん征圧月間です～



9月はがん征圧月間です。いろいろな機会にがんの話題について触れることもあると思います。「がんなんて自分には関係ない」そう思っていないですか？がんは日本人の**2人に1人**がかかり、**3人に1人**が亡くなると言われています。今回は、**20～30歳代に増えている子宮頸がん**についてお伝えします。



子宮頸がんとは？

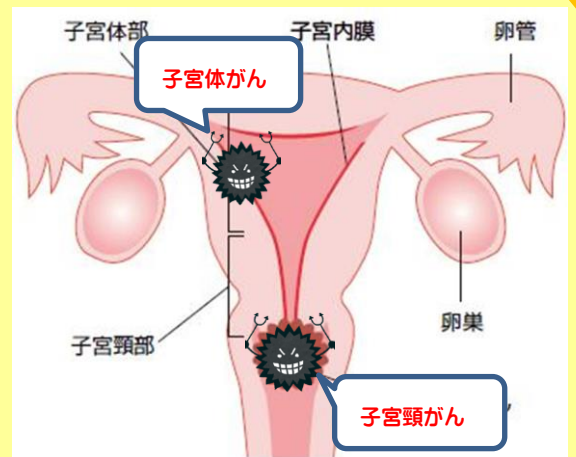
子宮頸部の入り口あたりにできるがんで、定期的に検診を受ければ、**がんになる前の段階で見つけることが可能**です。早期治療であれば子宮を温存することができ出産も可能です。

原因は？

ヒトパピローマウイルス (HPV) の関連があり、**性交渉で感染**するウイルスです。性交渉の経験のある女性なら誰でもかかる可能性があります。若年層に増えている原因は性交渉の低年齢化にあるといわれています。

症状は？

初期は症状はありませんが、以下のような症状があればすぐに婦人科に相談しましょう
月経以外での出血、性交時の出血、おりものの異常(量・色)



がんを予防する方法は定期的な検診を受けることです！！

子宮頸がん検診に行こう！

検診はどんなことをするんだろう？

問診：問診票に、月経周期や直近の月経の様子などを記載し、診察室で医師からの質問に答えます。

視診：膣鏡を膣内に挿入し、子宮頸部を観察します。おりものの状態や炎症の有無を目で確認します。

細胞診：ブラシなどで子宮頸部をこすり細胞を採取します。ほとんど痛みは無く、短時間ですみます。

どうすれば検診が受けられるの？

20歳以上の女性を対象に市町村で受診票を発行してもらえます。住民票のある市町村のがん検診窓口へお問い合わせください。

(豊橋市に住民票がある方は豊橋市保健所 健康増進課が窓口になります。)

